

麻しん・風しんに注意しましょう！

今年度初めての風しん患者の報告がありました

◆ どんな病気？

風しんは、発しん・発熱・リンパ節の腫れが主な症状です。潜伏期間は2～3週間で、発しんの出現前後7日くらいは感染力があると考えられています。

妊娠初期（20週くらいまで）の女性が風しんにかかると、生まれてくることにも白内障、先天性心疾患、難聴などが起こる可能性があります（先天性風しん症候群）。

麻しん患者が全国的に急増しています

◆ どんな病気？

麻しんウイルスによる感染症で、**感染力は非常に強く**、空気、飛沫、接触感染でうつります。発熱、発しん、風邪のような症状（咳や鼻汁など）が主な症状です。肺炎や脳炎などを合併して、重症化することもあります。

潜伏期間は10～12日間です。発症前1～2日から発しん出現後4～5日までは周囲に感染させるおそれがあります。

◆ 海外でも麻しん患者が増えています

海外からの麻しん患者が群馬県を訪問していました。

麻しんに関する注意情報(保健予防課)

https://www.pref.gunma.jp/houdou/d30g_00070.html

麻しんや風しんを疑う症状が出たら

- 医療機関を受診する場合は、**必ず事前に電話**をして受診方法を確認し、指示に従って受診しましょう
- 受診の際は、公共交通機関の利用は避けましょう。
- 他の人に感染させないように、不要不急の外出は避けましょう。

- 麻しん・風しんは、2回の予防接種で感染を防げます。
- 定期接種の対象者（1歳児、小学校入学前の1年間）は、無料で予防接種を受けられます。確実に受けましょう。